

新かすがい男女共同参画プラン実施状況報告書及び春日井市DV対策基本計画実施状況報告書に対する市民意見と市の考え方

【新かすがい男女共同参画プラン実施状況報告書】

No.	ご意見	市の考え方
1	<p>報告書の見方で「自己評価」の項目は所管課がするという事だが「評価」というのは第三者がすべきものではないか。</p> <p>また、評価のBとCの違いがよくわからない。</p>	<p>各事業の所管課が自己評価を行うことにより、その事業が男女共同参画の推進にどのようなかかわりがあるのかを認識し、理解した上で事業を進めることができると考えます。</p> <p>評価は、事業の「達成度」の観点から実施しており、Bは、「事業の実施に向け、ある程度取り組みができた」ことをCは、「取り組みができなかった」ことを表しています。</p>
2	<p>性教育は男女が互いにリスペクトしあうことが大切。How to sexではない。</p>	<p>小中学校においては、学習指導要領に沿って性教育を行っているところです。今後も系統性のある性教育に取り組むこととされています。</p>
3	<p>町内会に入っていない世帯は全世帯の35%であり、入っていない人にどのような周知を行うかが大切である。サークルや同好会に「はるか」を配る必要があるのでは？</p>	<p>「はるか」の周知方法として、町内会での回覧や公共施設、市内の企業や団体等への配布、市のHPで周知をいたしておりますが、より多くの方に知っていただくために、レディヤンかすがいでの掲示などさらなる効果的な周知方法を検討します。</p>
4	<p>施策 8-① メディアリテラシー向上への啓発や施策 32-① リプロダクティブ・ヘルス/ライツの周知の項目がまったく実施されていない。ぜひ意識改革できるように頑張ってください。</p>	<p>「はるか」の特集で取り上げたり、講座の開催などを検討します。</p>

No.	ご意見	市の考え方
5	<p>施策 8-② メディアリテラシー教育の項目で小中学生向けにインターネットのルールを学ぶ講座があるが、スマホの普及もあり、高校でもぜひ実施して欲しい。</p>	<p>学校教育を通じ、児童や生徒、保護者に対し、インターネットを始めさまざまなメディアが社会や生活に及ぼす影響を理解するための講座等が小中学校だけでなく、高等学校においても実施されております。</p> <p>なお、インターネットを利用したコミュニケーションのマナーやルール、情報発信等について、家庭内で話し合うことも重要と考えます。</p>
6	<p>数値目標がなかなか上がらないが、人の意識を変えるのは簡単ではない。地道な啓発活動の積み重ねが必要であるのではないかと。</p>	<p>今後も男女共同参画の視点に立った講座の開催や情報紙「はるか」の発行を引き続き行い、啓発に努めてまいります。</p>

【DV対策基本計画実施状況報告書】

No.	ご意見	市の考え方
1	<p>課題 4 取組④民間団体との連携とありますが、NPO法人ギブアンドテイクという傾聴ボランティア団体に協力を求めたらどうか。</p>	<p>配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護を図るためには、一時保護の委託や緊急時における安全の確保、相談業務、同行支援、居場所づくり等の自立支援において専門的な知見を持つ民間団体との連携が重要です。傾聴ボランティア団体については、活動内容等を把握し、連携の可能性を検討する必要があると考えます。</p>